

この CBT 公開問題集は、臨床実習開始前の 2006 年度「共用試験」を受験する学生の学習の参考にするための資料です。

社団法人 医療系大学間共用試験実施評価機構の許可なく、この CD に含まれる内容の一部、または全部をコピー、転載することを禁止します。

下記名称は商標登録申請中です。

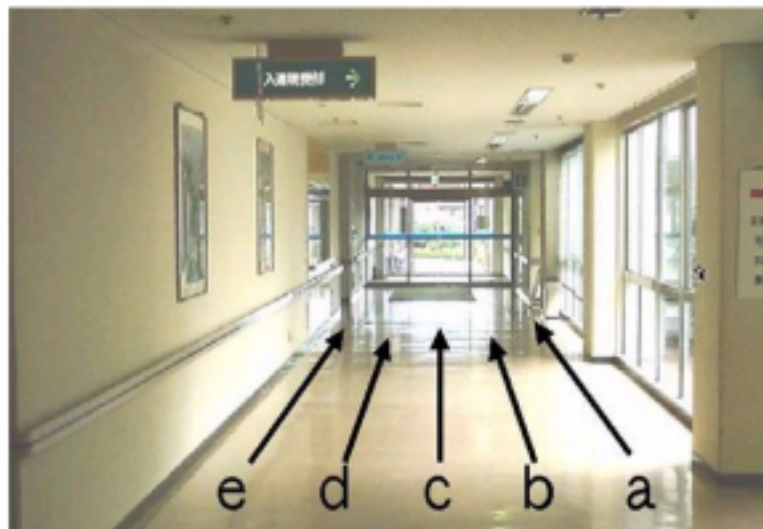
【CATO】【医療系大学間共用試験実施評価機構】

【共用試験】【共用試験CBT】【共用試験OSCE】

【順次解答型CBT】

問題1 A-1-(4):インフォ-ムド・コンセント

写真は病院の外来廊下である。病院実習中の学生が歩くコースとして好ましいのはどれか。



- A. a
- B. b
- C. c
- D. d
- E. e

問題2 A-2-(1):安全性の確保

救急診療において、医師は看護師に注射薬Aを用意するよう口頭で指示した。看護師は注射薬Bを注射器に詰めて医師に手渡した。注射を実施する直前に医師が薬剤の取り違えに気づき、医療事故は未然に防止された。

医療事故防止委員会への報告について適切なのはどれか。

- A. だれも報告する必要はない。
- B. 看護師が報告書を作成する。
- C. 医師が報告書を作成する。
- D. 医師と看護師が相談して1つの報告書を作成する。
- E. 医師と看護師が別々に2つの報告書を作成する。

問題3 A-3-(2): 患者と医師の関係

32歳の女性。10年前から糖尿病で多くの医療機関を転々としてきた。自覚症状は無く、服薬は断続的で、食生活は不規則であった。むしろ民間療法に頼っているようである。初診時の検査では血糖値380mg/dl、尿蛋白陽性、血清クレアチニン2.5mg/dlである。

初診日のコミュニケーションで最も優先すべきことはなにか。

- A. 直ちにインスリンを開始しなければ悪化すると言う。
- B. 不規則な通院や服薬は糖尿病を悪化させると指摘する。
- C. 民間療法についての誤った知識を指摘する。
- D. 患者の話を聞いて、共感を示す。
- E. 担当医の指導を守らなければ治療できないと言う。

問題4 A-4-(2): 論理的思考と表現能力

「全ての風邪の患者は咳の症状と鼻水の症状を伴う」という命題を偽と仮定する。

真の命題はどれか。

- A. 全ての風邪の患者は咳の症状か鼻水の症状を伴う。
- B. 全ての風邪の患者は咳の症状も鼻水の症状も伴わない。
- C. 咳の症状か鼻水の症状を伴う風邪の患者がいる。
- D. 咳の症状か鼻水の症状を伴わない風邪の患者がいる。
- E. 咳の症状も鼻水の症状も伴わない風邪の患者がいる。

問題5 B-1-(1): 細胞の基本構造と機能

ジギタリスの投与により、細胞で起こる変化はどれか。

- A. Na^+ -ブドウ糖共輸送の上昇
- B. Na^+ - H^+ 対向輸送の上昇
- C. 細胞内 Na^+ 濃度の低下
- D. 細胞内 K^+ 濃度の増加
- E. 細胞内 Ca^{2+} 濃度の増加

問題6 B-1-(1): 細胞の基本構造と機能

細胞周期の順序で正しいのはどれか。

- A. G1期→M期→G2期→S期→G1期
- B. G1期→G2期→M期→S期→G1期
- C. G1期→M期→S期→G2期→G1期
- D. G1期→S期→G2期→M期→G1期
- E. G1期→G2期→S期→M期→G1期

問題7 B-1-(2): 組織・各臓器の基本構造、機能と位置関係

各臓器と上皮組織との関係で正しいものはどれか。

- A. 食道 —— 重層扁平上皮
- B. 小腸 —— 多列絨毛上皮
- C. 膀胱 —— 単層円柱上皮
- D. 気管 —— 単層立方上皮
- E. 大腸 —— 移行上皮

問題8 B-1-(2): 組織・各臓器の基本構造、機能と位置関係

大動脈弓から最初に分岐する大きな枝はどれか。

- A. 椎骨動脈
- B. 腕頭動脈
- C. 左鎖骨下動脈
- D. 上腕動脈
- E. 内胸動脈

問題 9 B-1-(3): 個体の調節機構とホメオスタ-シス

抑制性シナプス後電位(IPSP)を発生させるのはどれか。

- A. アセチルコリン
- B. γ-アミノ酪酸(GABA)
- C. ノルアドレナリン
- D. グルタミン酸
- E. ヒスタミン

問題 10 B-1-(3): 個体の調節機構とホメオスタ-シス

受容体チロシンキナーゼを介して情報を伝えるホルモンはどれか。

- A. インスリン
- B. グルカゴン
- C. アドレナリン
- D. アルドステロン
- E. アセチルコリン

問題 1 1 B-1-(4): 個体の調節機構とホメオスタ-シス

細胞外液量が増加した際に分泌が亢進するのはどれか。

- A. アルドステロン
- B. アンジオテンシンII
- C. バソプレシン
- D. レニン
- E. 心房性ナトリウムペプチド (ANP)

問題 1 2 B-1-(4): 個体の発生

鰓弓から発生するのはどれか。

- A. 耳小骨
- B. 三半規管
- C. 橋脚
- D. 角膜
- E. 網膜

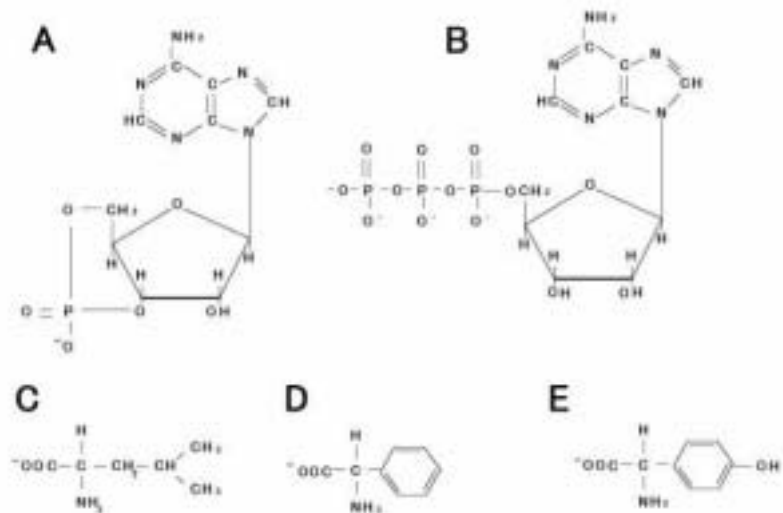
問題 1 3 B-1-(5): 生体物質の代謝

尿素サイクルに最も関連の深い物質はどれか。

- A. アデニン
- B. アラニン
- C. アンモニア
- D. クレアチニン
- E. 尿酸

問題 1 4 B-1-(5): 生体物質の代謝

図A-Eのうちアデニル酸シクラーゼの作用で生成される物質を示すのはどれか。



- A. 図A
- B. 図B
- C. 図C
- D. 図D
- E. 図E

問題 15 B-1-(6): 遺伝と遺伝子

プリン環を構成する塩基はどれか。

- A. アデニンとグアニン
- B. シトシンとチミン
- C. アデニンとチミン
- D. シトシンとグアニン
- E. チミンとウラシル

問題 16 B-2-(1): 生体と微生物

グラム (Gram) 染色で陽性を示すのはどれか。

- A. 淋菌
- B. 髄膜炎菌
- C. 肺炎球菌
- D. インフルエンザ菌
- E. ヘリコバクター・ピロリ

問題 17 B-2-(2) : 免疫と生体防御

樹状細胞について正しいのはどれか。

- A. 消化管粘膜ではランゲルハンス(Langerhans)細胞と呼ばれる。
- B. 細菌貪食能が旺盛である。
- **C. 抗原提示能を有する。**
- D. 大型類円形の表面平滑な細胞である。
- E. 粗面小胞体が著明に発達している。

問題 18 B-2-(2) : 免疫と生体防御

紫外線がDNAの損傷を起こす順序はどれか。

- A. 一本鎖の切断
- B. 二本鎖の結合
- C. ヌクレオチドの分解
- D. ピリミジンの分解
- **E. ピリミジン二量体の形成**

問題 19 B-2-(4): 生体と薬物

剤型や薬物投与方法のうち初回通過効果が最も大きい投与方法はどれか。

- A. 点滴静注
- B. 舌下錠
- C. 皮下注射
- D. 坐剤
- E. 腸溶錠

問題 20 B-3-(4): 循環障害

潜水病や減圧病の原因となる毒粒子はどれか。

- A. 血栓
- B. 脂肪
- C. コレステロール
- D. 窒素
- E. 酸素

問題 2 1 B - 3 - (4) : 循環障害

顔面のうっ血がみられないのはどれか。

- A. 500kgの剛材で胸部を圧迫された。
- B. 肺動脈より上大静脈が圧迫された。
- C. 産位で縮死していた。
- D. 帯で首をしめられた。
- E. もちを喉につまらせた。

問題 2 2 B - 3 - (5) : 炎症と創傷治癒

寄生虫性疾患で出現する炎症性細胞はどれか。

- A. 好中球
- B. 好酸球
- C. リンパ球
- D. 形質細胞
- E. 組織球

問題 2 3 B - 3 - (6) : 腫瘍

原発性悪性腫瘍について正しいのはどれか。

- A. 食道癌は大部分が腺癌である。
- B. 肺癌は未分化癌の頻度が高い。
- C. 胃癌では扁平上皮癌が多い。
- D. 膀胱癌では移行上皮癌が多い。
- E. 子宮癌は体部では扁平上皮癌が多い。

問題 2 4 B - 1 - (3) : 貧血

平均赤血球容積(MCV)が低下するのはどれか。

- A. 再生不良性貧血
- B. 鉄欠乏性貧血
- C. 溶血性貧血
- D. 腎性貧血
- E. 巨赤芽球性貧血

問題 25 B-1-(3): 貧血

29歳の女性。倦怠感を主訴に来院した。脾を左肋骨弓下に2cm触知する。白血球7,900、赤血球348万、Hb10.8 g/dl、Ht 38%、網赤血球72%、血小板28万、LDH 780単位(基準176-353)、総ビリルビン 2.2 mg/dl。

予想される検査所見はどれか。

- A. 血清フェリチン値低下
- B. 赤血球寿命短縮
- C. 血漿鉄消失時間延長
- D. 血清ビタミンB12濃度低下
- E. 血清エリスロポエチン濃度低下

問題 26 C-2-(1): 構造と機能

大脳皮質において一次視覚野はどこにあるか。

- A. 後頭葉
- B. 側頭葉
- C. 頭頂葉
- D. 前頭葉
- E. 辺縁葉

問題 27 C-2-(1): 構造と機能

生体の緊急ストレス反応でないのはどれか。

- A. 心拍数の増加
- B. 血圧の上昇
- C. 胃液分泌の亢進
- D. 血糖値の上昇
- E. 気管支の拡張

問題 28 C-2-(1): 構造と機能

縫体交差は脳のどこに存在するか。

- A. 大脳
- B. 中脳
- C. 小脳
- D. 橋
- E. 延髄

問題 29 C-2-(4): 脳・背髄血管障害

83歳の男性。突然発症した意識障害で救急搬送された。血圧210/110 mmHg呼吸は不規則、意識は昏睡、眼球は正中位固定、瞳孔は両側とも点状に縮小している。対光反射あり角膜反射欠如、四肢の自動運動なし。頭部単純エックス線CTで、脳内出血をみとめた。

脳内出血の部位として、最も考えられるのはどれか。

- A. 被殻出血
- B. 視床出血
- C. 橋出血
- D. 小脳出血
- E. 皮質下出血

問題 30 C-2-(4): 脳・背髄血管障害

64歳の男性。2年前に足底に黒色斑が生じ、次第に拡大している。

最初に行うのはどれか。



- A. 経過観察
- B. 一部生検
- C. 広範囲切除
- D. 放射線治療
- E. 化学療法

問題 3 1 C - 4 - (1) : 構造と機能

大泉門について正しいのはどれか。

- A. 小泉門より先に閉鎖する。
- B. 小泉門の後方にある。
- C. 左右の頸頂骨と後頸骨の間にある。
- D. 鎖骨化を行う。
- E. 左右一対ある。

問題 3 2 C - 4 - (1) : 構造と機能

水泳中に膝関節の強い収縮が持続した。

この時、足が示す姿勢はどれか。

- A. 屈曲
- B. 内反
- C. 外反
- D. 内転
- E. 外転

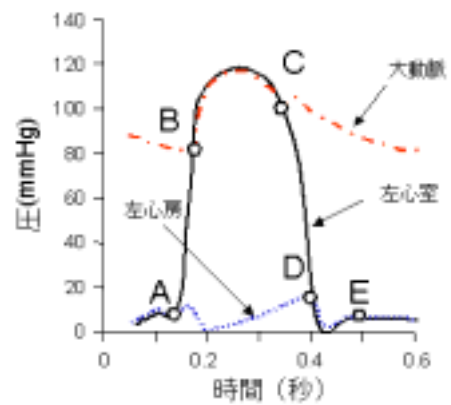
問題 3 3 C - 4 - (1) : 構造と機能

手根管内を通るのはどれか。

- A. 尺骨神経
- B. 正中神経
- C. 橈骨神経
- D. 尺骨動脈
- E. 橈骨動脈

問題 3 4 C - 5 - (1) : 構造と機能

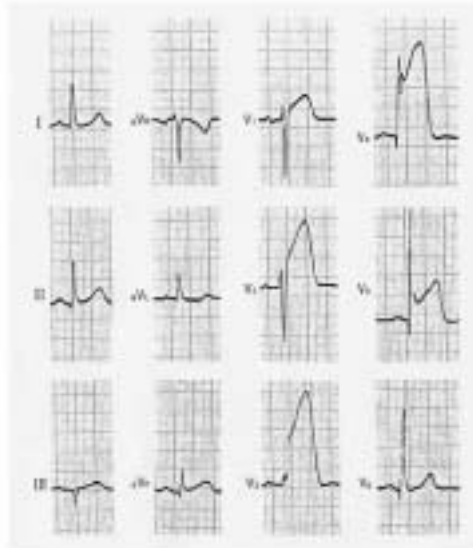
図には左心房内圧、左心室内圧、大動脈内圧の同時記録が示してある。
AからEの各点のうち瓣膜が開く時点はどれか。



- A. A
- B. B
- C. C
- D. D
- E. E

問題 3 5 C - 5 - (4): 狭心症・心筋梗塞

56歳の男性。突然、前胸部痛が出現したため来院した。心電図を示す。
考えられる疾患はどれか。



- A. 労作性狭心症
- B. 心筋症
- C. 心筋炎
- D. 心内腫瘍
- E. 心筋梗塞

問題 3 6 C - 5 - (5): 不整脈

めまいを訴えて来院した症例の心電図を示す。
正しいのはどれか。



- A. 虚血性ST変化
- B. 上室性期外収縮
- C. II度房室ブロック
- D. 完全房室ブロック
- E. 洞律正

問題 37 C-5-(9): 動脈疾患

図は正常の血管と動脈硬化が発生した血管の違いを模式図で示したものである。
 図のX細胞について語っているのはどれか。

正常な血管

動脈硬化が発生した血管

平滑筋細胞
 内弾性板
 内膜
 内皮細胞
 中膜
 外膜

X細胞
 内膜
 平滑筋細胞

A. 一酸化窒素(NO)を産生する。
 B. マクロファージに由来する。
 C. 集合してプラークを形成する。
 D. 変性LDLを取り込む。
 E. 遊走により内膜内に入る。

問題 38 C-6-(1): 構造と機能

正常な気管支上皮はどれか。

A. I型肺胞上皮
 B. クララ(Clara)細胞
 C. 絨毛上皮
 D. II型肺胞上皮
 E. 扁平上皮

問題 39 C-6-(2): 診断と検査の基本

胸部エックス線写真上、肺野の透過性亢進を呈するのはどれか。

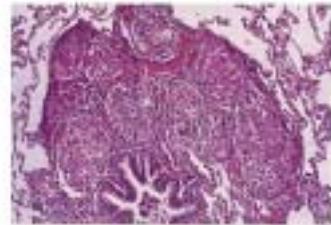
- A. 細菌性肺炎
- B. 過敏性肺炎
- C. 特発性間質性肺炎
- **D. 慢性肺気腫**
- E. 肺水腫

問題 40 C-6-(8): 免疫学的機序による肺疾患

35歳の女性。自覚症状はないが、健康診断で胸部エックス線写真上両肺門リンパ節腫大を指摘された。気管支内視鏡下に、気管支肺胞洗浄(BAL)及び肺生検を実施した。病理組織写真(H-E染色)を示す。

この患者に予想される検査成績はどれか。

(出典: Damjanov Linder, Pathology: A Color Atlas, Mosby, Inc.)



- A. 末梢血白血球数増加
- B. 低カルシウム血症
- **C. 血清アンジオテンシン変換酵素(ACE)上昇**
- D. 気管支肺胞洗浄液(BAL)にてOD4/OD8比低下
- E. ツベルクリン反応陽性

問題 4 1 C - 6 - (1 2): 胸膜・縦隔疾患

疾患と発生部位の組み合わせで正しいのはどれか。

- A. 胸腺腫 ————— 後縦隔
- B. 奇形腫 ————— 後縦隔
- C. 異所性甲状腺腫 ————— 上縦隔
- D. 神経原性腫瘍 ————— 前縦隔
- E. 気管支嚢胞 ————— 前縦隔

問題 4 2 C - 7 - (1): 構造と機能

胆管閉塞により吸収不良をきたす可能性のあるビタミンはどれか。

- A. B₁
- B. B₆
- C. c
- D. K
- E. B₁₂

問題 4 3 C - 7 - (6): 小腸・大腸疾患

絞扼性イレウスの病態として正しいのはどれか。

- Ⓐ 腹腔内の炎症による腸管運動の麻痺
- Ⓑ 異物による腸管内腔の狭窄・閉塞
- Ⓒ 血行障害を伴った腸管の狭窄・閉塞
- Ⓓ 癒着による腸管内腔の狭窄・閉塞
- Ⓔ 血清電解質異常による腸管運動の麻痺

問題 4 4 C - 7 - (6): 小腸・大腸疾患

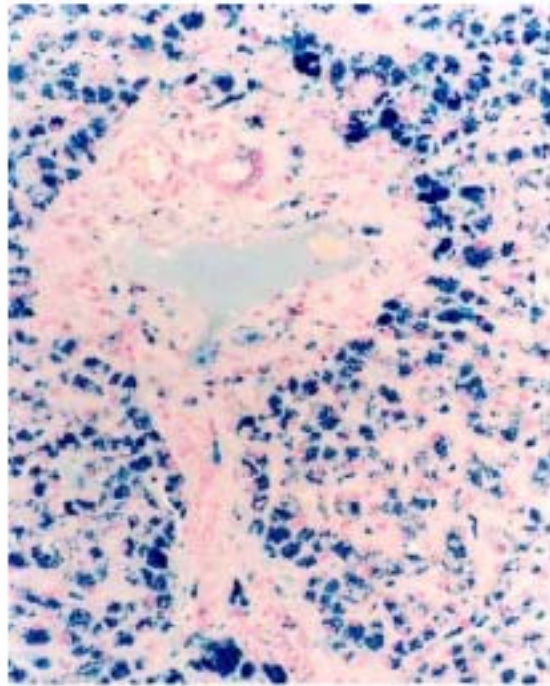
緊急手術を要するのはどれか。

- Ⓐ 癒着性イレウス
- Ⓑ 閉塞性イレウス
- Ⓒ 絞扼性イレウス
- Ⓓ 麻痺性イレウス
- Ⓔ 虚寒性イレウス

問題 4 5 C - 7 - (8) : 肺疾患

肝臓の組織像(鉄染色)を示す。原因はどれか。

- A. 鉄分の輸血
- B. ウイルス感染
- C. 胆管の閉塞
- D. 高脂血症
- E. アルコールの過飲



問題 4 6 C - 8 - (4) : 腎不全

慢性腎不全患者でみられるのはどれか。

- A. 血中原素窒素濃度の低下
- B. 糸球体濾過値の上昇
- C. エリスロポエチンの分泌増加
- D. 副甲状腺機能の亢進
- E. 代謝性アルカローシス

問題 47 C-8-(10): 先天異常、腫瘍と外傷

28歳の女性。排尿時痛と右背部痛を伴う39℃の発熱を繰り返している。
考えられる疾患はどれか。

- A. 慢性膀胱炎
- B. 腎萎縮
- C. 膀胱結石
- D. 膀胱尿管逆流症
- E. 急性糸球体腎炎

問題 48 C-9-(1): 構造と機能

正常性周期においてエストロゲンの急上昇直後に起こるのはどれか。

- A. 黄体の形成
- B. プログステロンの分泌
- C. 月経の開始
- D. LHの放出
- E. プロラクチンの分泌

問題 49 C-9-(4): 男性生殖器疾患

76歳の男性。前立腺癌(中分化型腺癌)と診断された。血中アルカリホスファターゼ高値を指摘されている。
考えられるのはどれか。

- A. 直腸への癌の進展
- B. 腫瘍随伴症候群
- C. 肺への転移
- D. 骨への転移
- E. 腫瘍の血管新生

問題 50 C-9-(4): 男性生殖器疾患

72歳の男性。倦怠感と血尿を訴えて来院した。
尿検査では蛋白+、糖(-)、赤血球(-)、白血球(-)、血清生化学検査では尿尿素氮35mg/dl、クレアチニン2.8mg/dl、尿酸
6.6mg/dlである。腹部超音波検査で両側腎臓腎杯の拡張を認める。
原因疾患として最も考えられるのはどれか。

- A. 腎結核
- B. 尿管結石
- C. 下大静脈血栓症
- D. 前立腺肥大症
- E. 後部尿道弁

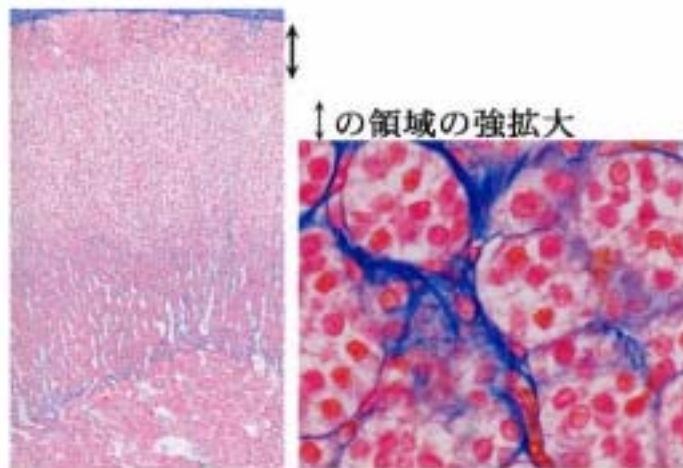
問題 5 1 C - 1 2 - (1): 構造と機能

卵巣から分泌されるホルモンはどれか。

- A. プロラクチン
- B. プロゲステロン
- C. オキシトシン
- D. 卵胞刺激ホルモン
- E. ヒト絨毛性ゴナドトロピン

問題 5 2 C - 1 2 - (1): 構造と機能

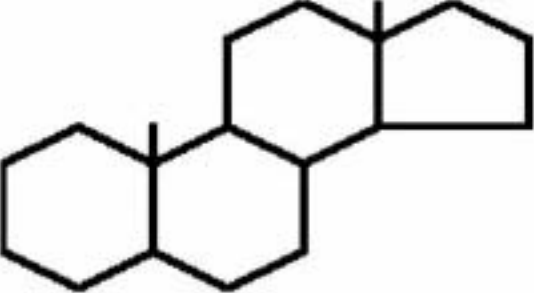
図の矢印で示した領域の細胞から主として分泌されるのはどれか。



- A. コルチコステロン
- B. テストステロン(アンドロゲン)
- C. アドレナリン
- D. アルドステロン
- E. エンケファリン

問題 5 3 C - 1 2 - (1): 構造と機能

図に示すような炭素骨格をもつホルモンはどれか。



○ A. サロキシリン
○ B. インスリン
○ C. アドレナリン
○ D. テストステロン
○ E. プロスタグランジン

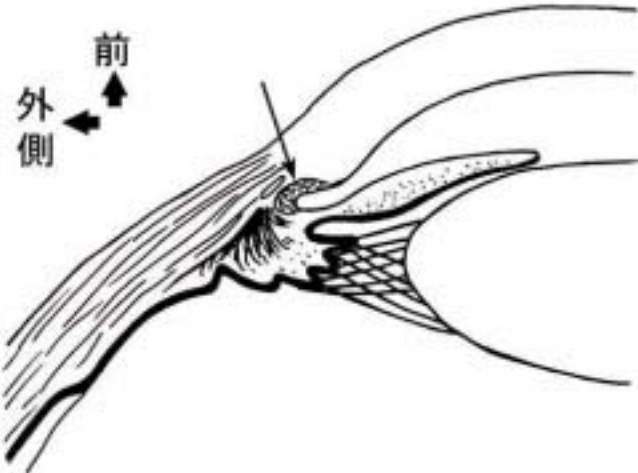
問題 5 4 C - 1 2 - (2): 診断と検査の基本

血中濃度が早朝より亢進し、夕方にかけて低下する日内変動を示すホルモンはどれか。

○ A. 成長ホルモン
○ B. 卵胞刺激ホルモン
○ C. 甲状腺刺激ホルモン
○ D. 副甲状腺ホルモン
○ E. コルチゾール

問題 5 5 C - 1 3 - (1) : 構造と機能

図は眼球前部の横断面図である。
矢印で示された部位の病変が原因となっている最も可能性の高い疾患はどれか。



A. 網膜剥離
 B. 白内障
 C. 緑内障
 D. 斜視
 E. 角膜潰瘍

問題 5 6 C - 1 3 - (4) : 疾患

老視の主な原因はどれか。

A. 瞳孔径の縮小
 B. 瞳孔力の減弱
 C. 水晶体の弾性減弱
 D. 毛様体筋の筋力減弱
 E. 毛様小帯の張力減弱

問題 5 7 C - 1 4 - (1): 構造と機能

下鼻道に開口するのはどれか。

- A. 前頭洞
- B. 上顎洞
- C. 蝶形骨洞
- D. 鼻涙管
- E. 耳管

問題 5 8 C - 1 4 - (4): 疾患

慢性扁桃炎の二次病変でないのはどれか。

- A. 胸肋鎖骨過形成
- B. 心内膜炎
- C. 間質性肺炎
- D. 糸球体腎炎
- E. 掌跖膿疱症

問題 59 C-15-(3): 疾患・障害

心身症と考えられるのはどれか。

- A. 治療に関する医師の指示を守らない糖尿病患者
- B. うつ状態になったがん患者
- C. 仕事量が増えるたびに消化性潰瘍が再発する患者
- D. 自分の顔が醜いと思い込んで美容外科手術を求める患者
- E. 手首を切る自殺未遂行為を繰り返す患者

問題 60 C-15-(3): 疾患・障害

うつ病の睡眠障害として最も特徴的なのはどれか。

- A. 入眠困難
- B. 入眠時幻覚
- C. 熟眠困難
- D. 早期覚醒
- E. 過眠

問題 6 1 C - 1 5 - (3): 疾患・障害

40歳の男性。会社員。仕事上の失敗をきっかけに不眠が始まり、抑うつ、意欲低下、興味の喪失、罪悪感および自殺念慮が生じ、精神科を受診した。

この患者の対応について語っているのはどれか。

- Ⓐ 病気になることを説明する。
- Ⓑ 自殺しないように約束する。
- Ⓒ 病気に負けないように勧める。
- Ⓓ 治るまでは人生上の大きな決心は保留するように話す。
- Ⓔ 病気の回復の見とおしを述べる。

問題 6 2 C - 1 5 - (3): 疾患・障害

48歳の男性。2か月前に職場で昇進した後、不眠、食欲不振、体重減少が出現してきた。内科で検査を受けたが、特に異常は見当たらなかった。その後、次第にゆううつな感じやイライラが目立つようになり、仕事も進まなくなってきた。朝は調子が悪いが、夜になると少し気分が良くなる。

診断はどれか。

- Ⓐ 適応障害
- Ⓑ 心気症
- Ⓒ 気分変調症
- Ⓓ うつ病
- Ⓔ 心身症

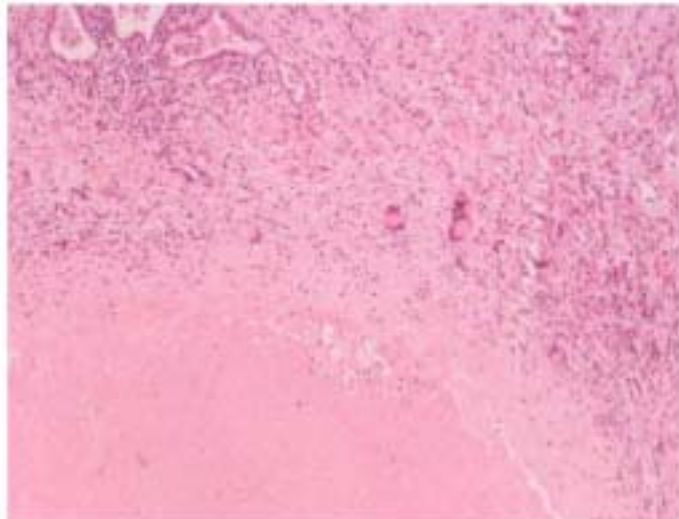
問題 6 3 D - 1 - (1) : 病態

細菌性食中毒のうち食品の加熱が無効なのはどれか。

- A. 病原大腸菌食中毒
- B. 黄色ブドウ球菌食中毒
- C. サルモネラ食中毒
- D. カンピロバクター食中毒
- E. 腸炎ビブリオ食中毒

問題 6 4 D - 1 - (4) : 細菌感染症

肺の結節性病変を組織学的に検索し、図のような病変が認められた。考えられる疾患はどれか。



- A. 肺癌
- B. サルコイドーシス
- C. 結核
- D. 肺結核
- E. 肺真菌症

問題 6 5 D - 1 - (6) : 真菌感染症と寄生虫症

末梢血塗抹標本により診断できるのはどれか。

- A. マラリア
- B. カリニ肺炎
- C. 蛔虫症
- D. アニサキス症
- E. 日本住血吸虫症

問題 6 6 D - 1 - (8) : 院内感染

眼科病棟で結膜炎が多発した。
疑われる病原体はどれか。

- A. アデノウイルス
- B. ムンプスウイルス
- C. CMV
- D. ポリオウイルス
- E. ラインウイルス

問題 67 D-2-(2): 自己免疫疾患一般

免疫複合体の組織への沈着が関係するのはどれか。

- A. 皮膚筋炎
- B. 慢性関節リウマチ
- C. 全身性エリテマトーゼス
- D. 強皮症
- E. ベーチェット(Behcet)病

問題 68 D-2-(7): アレルギー-

無ガンマグロブリン血症において異常が観察される細胞はどれか。

- A. マクロファージ
- B. 好中球
- C. 好酸球
- D. B細胞
- E. T細胞

問題 69 D-3-(1): 診断と検査の基本

血中コリンエステラーゼ値が低下するのはどれか。

- A. ベンゼン中毒
- B. ノルマルヘキサン中毒
- C. 有機リン中毒
- D. パラコート中毒
- E. スチレン中毒

問題 70 D-3-(2): 中毒

表のCにあてはまる食中毒原因菌はどれか。

	原因菌	潜伏期	加熱処理
感染型食中毒	A	長い	有効
毒素型食中毒	B	短い	有効
	C	短い	無効

- A. サルモネラ
- B. 腸管出血性大腸菌
- C. ウェルシュ菌
- D. 腸炎ビブリオ
- E. ブドウ球菌

問題 7 1 D - 3 - (2) : 中毒

満期正常分娩の新生児に生後48時間以内にかかる循環系の変化として起っているのはどれか。

- A. 動脈血酸素飽和度の上昇
- B. 右室収縮期圧の低下
- C. 動脈管の機能的閉鎖
- D. 肺血管抵抗の上昇
- E. 卵円孔の機能的閉鎖

問題 7 2 D - 4 - (1) : 胎児・新生児

28歳の初産婦。胎位は第1頭位。妊娠38週0日、陣痛が完来し、13時間後に3210gの男児を経産分娩した。出生児は1分後には、啼泣は強く、心拍数は120/分、顔トーマスは良好、カテラル刺激に対して咳、四肢に若干のチアノーゼを認めた。

この児の1分後のアプガー(Apgar)スコアは何点か。

- A. 6点
- B. 7点
- C. 8点
- D. 9点
- E. 10点

問題 7 3 D - 4 - (2) : 乳幼児

乳児の診察で、年長児とは判定基準が異なるのはどれか。

- A. 眼球運動(追視)
- B. 項部硬直
- C. 筋緊張
- D. 膝蓋腱反射
- E. バビンスキー(Babinski)反射

問題 7 4 D - 4 - (2) : 乳幼児

2か月の乳児。筋緊張の低下があり、染色体検査は47, XX, +21であった。
本疾患にみられる身体所見はどれか。

- A. 眼裂斜上
- B. 小顎症
- C. 翼状頭
- D. 陰核肥大
- E. 高身長

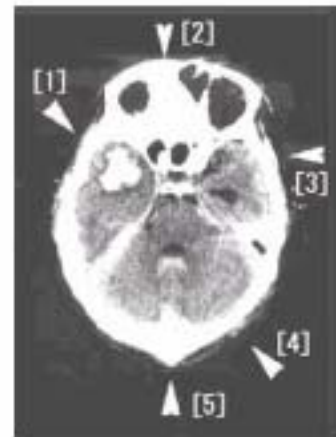
問題 7 5 D - 7 : 死と法

死体の死後変化のうち最も早期に出現するのはどれか。

- Ⓐ 下腹部の暗緑色変色の出現
- Ⓑ 全身の死体硬直の緩解
- Ⓒ 角膜混濁
- Ⓓ 死斑の転移
- Ⓔ 下脛の腐敗網の出現

問題 7 6 D - 7 : 死と法

図は路上で転倒しているところを発見されて救急入院した患者の頭部 CT 像である。頭部外傷を起こした外力の推定作用方向として正しいのはどれか。



- Ⓐ 1
- Ⓑ 2
- Ⓒ 3
- Ⓓ 4
- Ⓔ 5

問題 77 D-7 : 死と法

異状死体の届け出が必要ないのはどれか。

- A. 心肺停止状態で搬送された初診の患者が蘇生術に反応せず死亡した。
- B. 胃癌で化学療法のために入院していた患者が肺炎で死亡した。
- C. 心血管奇形で手術中の乳児が人工心肺装置の故障により死亡した。
- D. 交通事故で入院していた患者が敗血症で死亡した。
- E. 喘息で外来診療中の患者が点滴直後に容態が急変し死亡した。

問題 78 E-2-(1): 薬物治療の基本原則

アトロピンが促進する作用はどれか。

- A. 数値
- B. 胃酸分泌
- C. 腸管の蠕動
- D. 発汗
- E. 排尿

問題 79 E - 2 - (7) : 放射線を用いる診断と治療

放射線治療(外照射)において、治療の指標はどれか。

- A. 照射線量
- B. 吸収線量
- C. 物理的半減期
- D. エックス線透過率
- E. 反射率

問題 80 E - 2 - (7) : 放射線を用いる診断と治療

胸部エックス線写真で末梢肺血管陰影が増強するのはどれか。

- A. 急性肺梗塞
- B. ファロー(Falot)四徴症
- C. 原発性肺癌
- D. 大動脈炎症候群
- E. 心房中隔欠損症

問題 8 1 E - 2 - (7) : 放射線を用いる診断と治療

核磁気共鳴画像検査(MRI)について正しいのはどれか。

- A. 静磁場中で微量の単色X線を照射すると核磁気共鳴現象が起こる。
- B. ペースメーカー装着患者には検査できない。
- C. 石灰化の検出にはCT検査よりも鋭敏である。
- D. 血管の描出にはヨード造影剤を使用する。
- E. 撮影方向は横断像のみである。

問題 8 2 E - 3 - (5) : 身体診察

神経学的な診断法として正しい組み合わせはどれか。

- A. 瞳孔に光をあて瞳孔の有無をみる ————— 交感神経
- B. 眼をしっかりと閉じられるかをみる ————— 動眼神経
- C. 鼻の挙上や首を左右にまわせるかをみる ————— 副神経
- D. 舌を口からまっすぐ突き出せるかをみる ————— 舌咽神経
- E. 口をあけることができるかをみる ————— 顔面神経

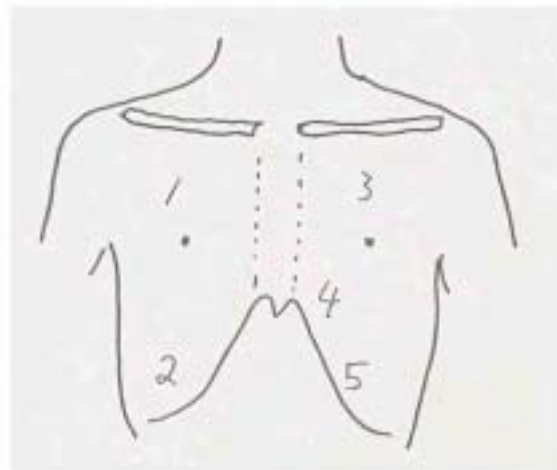
問題 8 3 E - 3 - (5) : 身体診察

正しいのはどれか。

- A. 腹部診察時の被検者の体位は坐位がよい。
- B. 腹水が貯留していると振水音が聴取される。
- C. トラウベ(Traube)の三角部の打診で肝腫大の有無を知る。
- D. 腹部の触診は痛みを訴える部位から始める。
- E. 反跳痛は腹膜刺激症状の一つである。

問題 8 4 E - 3 - (5) : 身体診察

健康人の前胸壁の打診で鼓音を呈する場所はどこか。



- A. 1
- B. 2
- C. 3
- D. 4
- E. 5

問題 8 5 E - 3 - (5) : 身体診察

61 歳の男性。両下腿の麻痺を主訴に来院。足底を刺激し、図に示す身体診察所見を得た。
病変部位はどれか。

- A. 前脛筋
- B. 腓脛神経
- C. 神経根
- D. 脊髄
- E. 小脳



問題 8 6 F - (1) : 社会・環境と健康

水道水の水質基準として検出されてはならないのはどれか。

- A. 塩素イオン
- B. 水銀
- C. ベンゼン
- D. 大腸菌
- E. 一般細菌

問題 87 F - (2) : 疫学と予防医学

全世界で発生がなくなった伝染病はどれか。

- A. コレラ
- B. 痘瘡
- C. 黄熱
- D. ペスト
- E. 腸チフス

問題 88 F - (2) : 疫学と予防医学

A町とB町の男性の人口はどちらも10,000人である。ある年1年間の男性の総死亡者数はどちらの町でも80人であった。ところが、その年の日本全体の男性の年齢階級別総死亡率を用いて両町の総死亡の標準化死亡比(SMR)を計算したところ、A町では80、B町では140であった。

両町の男性人口の年齢構成について、正しいのはどれか。ただし、日本全体の男性の総死亡率は年齢とともに単調に増加しているものとする。

- A. A町のほうがB町より高齢者が多い。
- B. B町のほうがA町より高齢者が多い。
- C. A町とB町の年齢構成はほぼ同じである。
- D. A町、B町ともに、日本全体の年齢構成よりも高齢者が多い。
- E. A町、B町ともに、日本全体の年齢構成よりも高齢者が少ない。

問題 89 F - (2) : 疫学と予防医学

図はある死因の年齢階級別死亡率を昭和10年、45年、平成11年について示したものである。正しいのはどれか。

○ A. 悪性新生物
 ○ B. 心疾患
 ○ C. 脳血管疾患
 ○ D. 肺炎
 ○ E. 不慮の事故

問題 90 F - (4) : 保険、医療、福祉と介護の制度

行政機関と役割との組み合わせで正しいのはどれか。

○ A. 結核患者の管理 ———— 衛生研究所
 ○ B. 介護保険の申請 ———— 保険医療機関
 ○ C. コレラ患者の届出 ———— 保健所
 ○ D. 小中学校生徒の健康管理 ———— 市町村保健センター
 ○ E. 統合失調症患者の入院治療 ———— 精神保健福祉センター

問題 9 1 F - (4) : 保険、医療、福祉と介護の制度

老人保健法の保健事業でないのはどれか。

- A. 健康手帳の交付
- B. 健康教育
- C. 機能訓練
- D. 訪問指導
- E. がん検診

問題 9 2 F - (4) : 保険、医療、福祉と介護の制度

腹痛を訴える患者家族からの診察依頼があった。深夜ではあったが、診察を行い院外処方箋を発行した。「消化のよいものを摂取するように」話し、患者の依頼で会社提出用の診断書を書いた。翌日患者の上司から病状について電話があったので経過を話した。

以下の義務のうちで、医師が違反しているのはどれか。

- A. 応召義務
- B. 処方箋の交付義務
- C. 保健指導を行う義務
- D. 診断書交付の義務
- E. 守秘義務

問題 9 3 F - (4) : 保険、医療、福祉と介護の制度

国民医療費の推計に含まれるのはどれか。

- A. 調剤報酬
- B. 義肢作製費
- C. 健康診断料
- D. 予防接種実施経費
- E. 正常分娩にかかる費用

問題 9 4 - 1 E - 1 - (1 7) : 胸痛

連問 (1/2)

テーマ: 胸痛

72歳の男性。1時間前に突然、激しい胸痛が起った。痛みは背中に放射する。血圧は右上肢では160/90 mmHg、左上肢では105/70 mmHgである。大動脈弁領域で拡張期雑音が聴取される。診断はどれか。

- A. 逆流性食道炎
- B. 狭心症
- C. 胸膜炎
- D. 肺梗塞
- E. 自然気胸
- F. 市中肺炎
- G. 心外膜炎
- H. 心筋梗塞
- I. 帯状疱疹
- J. 大動脈解離
- K. 肺塞栓症
- L. パニック障害
- M. 肋軟骨炎

問題 9 4 - 2 E - 1 - (1 7) : 胸痛

連問 (2/2)

テーマ: 胸痛

26歳の女性。4年前から全身性エリテマトーデスと診断され治療を受けていた。昨日から38℃の発熱と前胸部痛がある。痛みは深呼吸時と臥位で増悪し、座位や前屈姿勢で軽減する。胸骨左縁で前収縮期、収縮期、拡張早期に高調性の雑音を聴取する。診断はどれか。

- A. 逆流性食道炎
- B. 狭心症
- C. 胸膜炎
- D. 肺梗塞
- E. 自然気胸
- F. 市中肺炎
- G. 心外膜炎
- H. 心筋梗塞
- I. 帯状疱疹
- J. 大動脈解離
- K. 肺塞栓症
- L. パニック障害
- M. 肋軟骨炎

問題 95-1 E-1-(17): 胸痛

連問(1/2)

テーマ: 胸痛

48歳の男性。最近、頻りに胸骨下部に焼けるような痛みを感じる。痛みは30分ほど持続し、飲水で軽快する。痛みはたくさん食べた時や臥位の時にかかる。
診断はどれか。

- A. 逆流性食道炎
- B. 狭心症
- C. 胸膜炎
- D. 頸椎症
- E. 自然気胸
- F. 市中肺炎
- G. 心外膜炎
- H. 心筋梗塞
- I. 帯状疱疹
- J. 大動脈解離
- K. 肺塞栓症
- L. パニック障害
- M. 肋軟骨炎

問題 95-2 E-1-(17): 胸痛

連問(2/2)

テーマ: 胸痛

60歳の女性。昨日から左背部から側胸部にかけてチリチリとした痛みを認める。その部分の皮膚を綿棒で軽く触ると焼けるような不快な感じを訴える。胸部の聴診では異常を認めない。
診断はどれか。

- A. 逆流性食道炎
- B. 狭心症
- C. 胸膜炎
- D. 頸椎症
- E. 自然気胸
- F. 市中肺炎
- G. 心外膜炎
- H. 心筋梗塞
- I. 帯状疱疹
- J. 大動脈解離
- K. 肺塞栓症
- L. パニック障害
- M. 肋軟骨炎

問題 9 6 - 1 C - 1 2 - (1 1): ビタミンと食事・輸液療

連問 (1/2)

テーマ: ビタミンと食事・輸液療法

56歳の男性。胃全摘術後、高カロリー輸液が施行されていたが全身倦怠感と手足のしびれを訴えた。記憶力が低下し、特に新しい記憶が保持できない。四肢末端の知覚鈍麻を認め、アキレス腱反射が消失している。欠乏しているビタミンはどれか。

- A. ナイアシン
- B. パントテン酸
- C. ビオチン
- D. ビタミンA
- E. ビタミンB₁
- F. ビタミンB₂
- G. ビタミンB₆
- H. ビタミンB₁₂
- I. ビタミンC
- J. ビタミンD
- K. ビタミンE
- L. ビタミンK
- M. 葉酸

問題 9 6 - 2 C - 1 2 - (1 1): ビタミンと食事・輸液療

連問 (2/2)

テーマ: ビタミンと食事・輸液療法

49歳の女性。慢性アルコール中毒で非常に傷った食生活をしてきた。下痢が持続し、口腔内の疼痛が我慢出来なくなったために来院した。顔、頸、両腕の前腕および手の皮膚に黒ずんだ紅斑が見られる。欠乏しているビタミンはどれか。

- A. ナイアシン
- B. パントテン酸
- C. ビオチン
- D. ビタミンA
- E. ビタミンB₁
- F. ビタミンB₂
- G. ビタミンB₆
- H. ビタミンB₁₂
- I. ビタミンC
- J. ビタミンD
- K. ビタミンE
- L. ビタミンK
- M. 葉酸

問題 97-1 C-12-(11): ビタミンと食事・輸液療

連問 (1/2)

テーマ: ビタミンと食事・輸液療法

1か月の乳児。母乳で育てられていたが哺乳力が弱く体重の増加が悪かった。2日前から元気がなく、母親が下血に気づき来院した。頭部単純CTで頭蓋内出血を認め、ヘパラスチンテストが50% (基準値: 70~130%) と低下している。

欠乏しているビタミンはどれか。

- A. ナイアシン
- B. パントテン酸
- C. ビオチン
- D. ビタミンA
- E. ビタミンB₁
- F. ビタミンB₂
- G. ビタミンB₆
- H. ビタミンB₁₂
- I. ビタミンC
- J. ビタミンD
- K. ビタミンE
- L. ビタミンK
- M. 葉酸

問題 97-2 C-12-(11): ビタミンと食事・輸液療

連問 (2/2)

テーマ: ビタミンと食事・輸液療法

60歳の女性。慢性甲状腺炎と診断されていた。半年ほど前から全身倦怠感・手足のしびれ・舌の痛みが続くために来院した。眼瞼結膜に貧血があり、舌乳頭が萎縮している。血液検査では大球性貧血、血小板減少、白血球減少を認め、血清LDHは高値である。

欠乏しているビタミンはどれか。

- A. ナイアシン
- B. パントテン酸
- C. ビオチン
- D. ビタミンA
- E. ビタミンB₁
- F. ビタミンB₂
- G. ビタミンB₆
- H. ビタミンB₁₂
- I. ビタミンC
- J. ビタミンD
- K. ビタミンE
- L. ビタミンK
- M. 葉酸

問題 9 8 - 1 C - 1 3 - (1): 視覚伝導路と視野障害

連問 (1/2)

テーマ: 視覚伝導路と視野障害

視覚伝導路の障害において、図のような視野障害 (黒い部分が欠損) を生じる部位はどこか。

A. a
 B. b
 C. c
 D. d
 E. e
 F. f

問題 9 8 - 2 C - 1 3 - (1): 視覚伝導路と視野障害

連問 (2/2)

テーマ: 視覚伝導路と視野障害

視覚伝導路の障害において、図のような視野障害 (黒い部分が欠損) を生じる部位はどこか。

A. a
 B. b
 C. c
 D. d
 E. e
 F. f

問題 99-1 C-13-(1): 視覚伝導路と視野障害

運問 (1/2)

テーマ: 視覚伝導路と視野障害

視覚伝導路の障害において、図のような視野障害 (黒い部分が欠損) を生じる部位はどこか。

A. a

B. b

C. c

D. d

E. e

F. f

問題 99-2 C-13-(1): 構造と機能

運問 (2/2)

テーマ: 視覚伝導路と視野障害

視覚伝導路の障害において、図のような視野障害 (黒い部分が欠損) を生じる部位はどこか。

A. a

B. b

C. c

D. d

E. e

F. f

問題 100-1 C-10-(3): 分娩時の異常出血

連問 (1/2)

テーマ: 分娩時の異常出血

33 歳の初産婦。妊娠 34 週で性器出血にて来院した。不規則な陣痛様の下腹部痛に伴って出血が増強し、痛みが弱まると出血量も減少する。このような反復する出血が 5 時間前から持続している。胎位は骨盤位で先露部は固定していない。内診すると子宮口は 3 cm 開大しており、この操作により出血量が増加した。診断はどれか。

- A. 会陰裂傷
- B. 頸管裂傷
- C. 弛緩出血
- D. 子宮筋腫分娩
- E. 子宮破裂
- F. 常位胎盤早期剥離
- G. 前置胎盤
- H. 癒着胎盤

問題 100-2 C-10-(3): 分娩時の異常出血

連問 (2/2)

テーマ: 分娩時の異常出血

35 歳の初産婦。陣痛微弱のための陣痛促進薬を使用して 3850 g の男児を分娩した。娩出直後より大量の出血を認めた。視診では出血は主に子宮内腔から出ているようであり、腹壁からは子宮をやわらかく触れる。顔色蒼白で血圧低下が認められる。下腹部に激しい痛みを訴えることはない。診断はどれか。

- A. 会陰裂傷
- B. 頸管裂傷
- C. 弛緩出血
- D. 子宮筋腫分娩
- E. 子宮破裂
- F. 常位胎盤早期剥離
- G. 前置胎盤
- H. 癒着胎盤

問題 101-1 C-10-(3): 分娩時の異常出血

連問 (1/2)

テーマ: 分娩時の異常出血

34 歳の 1 経妊 1 経産婦。妊娠 35 週で、性器出血と下腹部痛で緊急入院した。脈拍 85/分、血圧 160/95 mmHg。顔面は蒼白で経絡結膜は蒼白である。下脛に浮腫を認め、尿蛋白 2+、尿糖(-)、臍内に凝血塊を含む血液約 50 g を認める。下腹部全体に強い緊張性鈍痛があり、増強している。診断はどれか。

- A. 会陰裂傷
- B. 頸管裂傷
- C. 弛緩出血
- D. 子宮筋腫分娩
- E. 子宮破裂
- F. 常位胎盤早期剥離
- G. 前置胎盤
- H. 癒着胎盤

問題 101-1 C-10-(3): 分娩時の異常出血

連問 (2/2)

テーマ: 分娩時の異常出血

26 歳の初産婦。分娩第 1 期後半から第 2 期にかけて、1 分間隔の強い陣痛のため急速に分娩が進行し、3,320 g の女児を娩出した。男の娩出直後で胎盤娩出前から多量の出血が持続し、産科診で子宮口周辺から拍動性の出血がみられる。顔面は蒼白で血圧が低下している。子宮の収縮は良好である。診断はどれか。

- A. 会陰裂傷
- B. 頸管裂傷
- C. 弛緩出血
- D. 子宮筋腫分娩
- E. 子宮破裂
- F. 常位胎盤早期剥離
- G. 前置胎盤
- H. 癒着胎盤

問題 102-1 E-1-(35): 関節痛・間接腫張

連問 (1/4)

45歳の女性。関節痛、微熱と全身倦怠感を主訴に来院した。3か月前から朝方、両側の手がこわばることに気づいていた。両側の手指が腫れ、痛みのために雑巾が絞れないこともあったが、痛くない日もあったので様子を見ていた。2週間前より膝の関節が腫れて立ったり座ったりするのが不自由になり、微熱と全身倦怠感を自覚するようになったために来院した。

この関節痛を診断する上でまず聞くべきことはどれか。

- A. 朝の手のこわばりはどのくらい持続するか。
- B. 歩き始めに膝が痛い。
- C. 関節痛が始まったのは日焼けのあとか。
- D. 唾液が少なく乾いた食品が食べにくい。
- E. 第1中趾関節が突然痛くなることはないか。

問題 102-2 E-1-(35): 関節痛・間接腫張

連問 (2/4)

45歳の女性。関節痛、微熱と全身倦怠感を主訴に来院した。3か月前から朝方、両側の手がこわばることに気づいていた。両側の手指が腫れ、痛みのために雑巾が絞れないこともあったが、痛くない日もあったので様子を見ていた。2週間前より膝の関節が腫れて立ったり座ったりするのが不自由になり、微熱と全身倦怠感を自覚するようになったために来院した。朝の手のこわばりは2時間以上持続し、痛みは日により異なる。身長 154cm、体重 48kg、脈拍数 70/分、整、血圧 139/86 mmHg、頭部、胸部に異常なし。手関節、MIP関節（中手指関節）、PIP関節（近位指節間関節）に腫脹をみとめる（写真）



身体診察で認められる可能性の高いのはどれか。

- A. ヘリオトロープ疹
- B. 蝶形紅斑
- C. レイノー（Raynaud）現象
- D. 結膜炎
- E. リウマトイド結節

問題 102-3 E-1-(35): 関節痛・間接腫張

連問(3/4)

45歳の女性。関節痛、微熱と全身倦怠感を主訴に来院した。3か月前から朝の手のこわばりと移動性の関節痛を自覚していた。2週間前から膝の関節が腫れて、微熱、全身倦怠感を自覚するようになったので受診した。写真に示めすような関節の所見をみとめ、肘頭にリウマトイド結節（皮下結節）がある。しかしヘリオトロープ症、蝶形斑、結膜炎は認めず、冷水に手をいれてもレイノー現象はおこらなかった。診断と確定するために両手の単純エックス線写真を撮影した。

血液検査で不可欠なのはどれか

- A. 赤血球沈降速度（赤沈）
- B. LE細胞
- C. 尿酸
- D. 補体（C3, C4）
- E. ミオグロビン

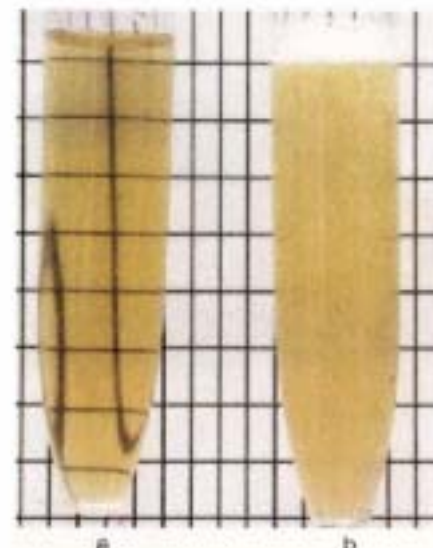
問題 102-4 E-1-(35): 関節痛・間接腫張

連問(4/4)

45歳の女性。関節痛、微熱と全身倦怠感を主訴に来院した。3か月前から朝の手のこわばりと手指関節をはじめとする多発性の関節痛を自覚。肘にリウマトイド結節があり、リウマトイド因子が陽性で、赤沈は高値であった。以上より関節リウマチと診断した。膝関節が腫れており、運動を触知したので関節穿刺をおこなった。採取された関節液の外観は（b）である。変形性関節症の患者の関節液（a）が透明であるのに対し、この患者の関節液は混濁している。

関節リウマチで関節液が混濁する機序はどれか。

- A. 炎症細胞の浸潤
- B. フィブリンの析出
- C. 細菌の感染
- D. 尿酸塩の結晶化
- E. 滑膜の破壊



問題 103-1 E-1-(18): 呼吸困難

通問 (1/4)

30歳の女性。息切れを主訴に来院した。3年前から疲労感が強く、顔や体がむくみっぽい感じを自覚していた。会社の健康診断ではコレステロールの高値を指摘された以外は大きな異常はない。しかし3か月前から労作時の息切れを自覚し、駅の階段も休まないと言えなくなったので、近くの医院を受診した。診察の結果、甲状腺腫と心肥大を指摘された。胸部エックス線写真(図)を持参して来院した。

医療面接において重要性の低いものはどれか。



- A. 寒がりになったか。
- B. 便秘になったか。
- C. 指節をひきやすくなったか。
- D. 最近出産したか。
- E. 家族に甲状腺の病気のひとはいるか。

問題 103-2 E-1-(18): 呼吸困難

通問 (2/4)

30歳の女性。息切れを主訴に来院した。3年前から疲労感が強く、顔や体がむくみっぽい感じを自覚していた。会社の健康診断ではコレステロールの高値を指摘された以外は大きな異常はないといわれていた。しかし3か月前から労作時の息切れを自覚し、近医で甲状腺腫と心肥大を指摘され受診した。2年前から寒がりになり、物覚えがわるくなったと感じていた。便秘がひどくなり、妊娠出産はしていないが、半年前から無月経になっている。家族歴では母親と叔母は糖尿病である。身長 152 cm、体重 52kg、脈拍 52/分、血圧 102/58 mmHg、びまん性の硬い甲状腺腫を触知する。

とくに注意して診察をすべきなのはどれか。

- A. 眼球運動
- B. 心雑音
- C. 脾腫
- D. 睫毛の脱落
- E. アキレス腱反射

問題 103-3 E-1-(18): 呼吸困難

連問 (3/4)

30歳の女性。息切れを主訴に来院した。3年前から疲労感、むくみ、記憶力低下、便秘、寒がりを自覚し、近区で甲状腺腫と心肥大を指摘され紹介受診した。半年前から無月経になっている。家族歴に糖尿病がある。身長 152 cm、体重 52 kg。脈拍 52/分。血圧 102/56 mmHg。びまん性の硬い甲状腺腫を触知する。頸静脈が怒張し、心尖拍動を触知しない。胸部の聴診で心雑音を認めず。腹部の触診で、肝臓と脾臓は触知しない。アキレス腱反射の弛緩相の産生を認める。靴毛の脱落はない。

まず行うべき検査はどれか。

- A. 甲状腺超音波検査
- B. 心臓超音波明層検査
- C. 妊娠反応
- D. 放射性ヨード摂取率
- E. 胸部単純CT撮影



問題 103-4 E-1-(18): 呼吸困難

連問 (4/4)

30歳の女性。息切れを主訴に来院した。3年前から疲労感、むくみ、記憶力低下、便秘、寒がりを自覚し、近区で甲状腺腫と心肥大を指摘され紹介受診した。家族歴に糖尿病がある。びまん性の硬い甲状腺腫を触知する。心臓エコー検査で心臓の貯留をみとめ(図)。心臓穿刺で透明な蛋白濃度の高い液が採取された。ホルモン検査の結果はTSH 4.2 $\mu\text{U}/\text{ml}$ (0.34~3.5)、FreeT4 0.2 ng/dl (0.7~1.7)であった。

この患者において心臓液が貯留した機序はどれか。

- A. TSHの心臓への直接作用
- B. 心臓の炎症
- C. 心臓収縮力の低下
- D. 心拍数の低下
- E. 毛細血管透過性の亢進

